

コタ (コード 4923)

◆通期業績推移(非連結) (25.3 予は会社側発表値)

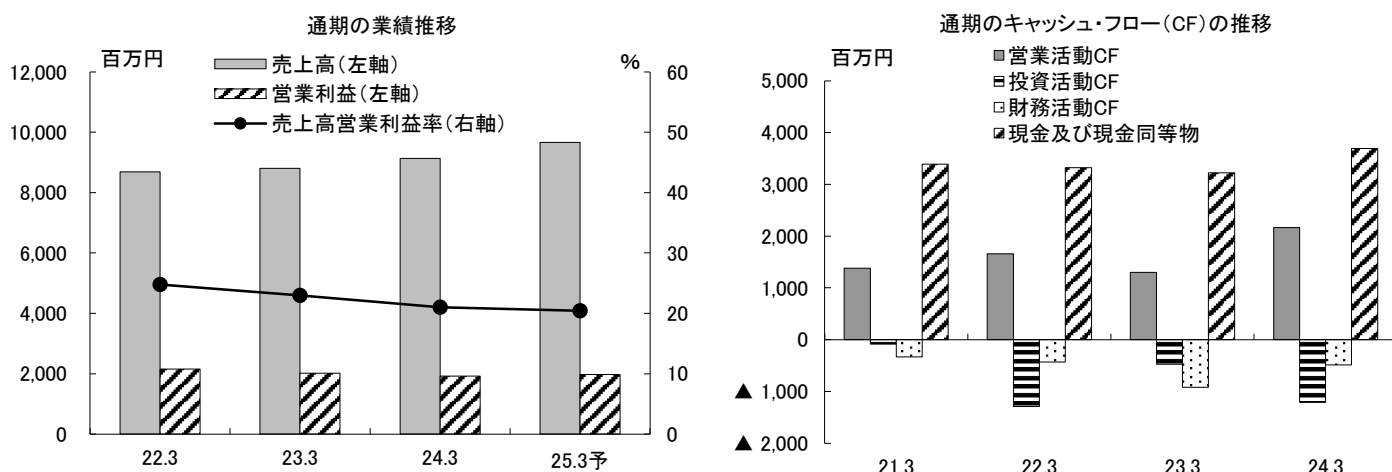
| 決算期 | 売上高 | 営業利益 | 1株純利益 | 1株配 | 営業CF | 投資CF | 財務CF | 現金及び現金同等物 |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------|------|-----------|
| 22.3 | 8,691 | 2,151 | 49.3 | 20.0 | 1,660 | ▲1,294 | ▲434 | 3,319 |
| 23.3 | 8,804 | 2,020 | 54.7 | 20.0 | 1,300 | ▲473 | ▲922 | 3,224 |
| 24.3 | 9,136 | 1,921 | 47.8 | 20.0 | 2,168 | ▲1,212 | ▲485 | 3,694 |
| 25.3予 | 9,660 | 1,972 | 48.9 | 20.0 | - | - | - | - |

◆各決算期の第2四半期業績推移(非連結) (25.3 予は会社側非開示につき表記しない)

| 決算期 | 売上高 | 営業利益 | 1株純利益 | 1株配 | 営業CF | 投資CF | 財務CF | 現金及び現金同等物 |
|------|-------|------|-------|-----|------|------|------|-----------|
| 22.3 | 3,671 | 747 | 19.1 | 0.0 | 456 | ▲420 | ▲888 | 2,534 |
| 23.3 | 3,384 | 350 | 9.3 | 0.0 | ▲402 | ▲744 | ▲443 | 1,729 |
| 24.3 | 3,427 | 260 | 6.6 | 0.0 | 62 | ▲977 | ▲480 | 1,828 |

(22年4月1日付、23年4月1日付及び24年4月1日付で1→1.1株の株式分割を実施)

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



24年3月期の業績概況…24年3月期の業績は、「コタ アイ ケア」の販売が堅調に推移したことに加え、新製品「コタエイジング バウンスアップ」の販売が好調だったことなどから、前年に比べ売上高は約4%増え、26期連続の増収、過去最高となったが、原材料費の上昇、投資による人件費及び減価償却費の増加などにより、営業利益は約5%減となった。

当期の売上高は91億3,600万円(23年3月期比3.8%増)、営業利益は19億2,100万円(同4.9%減)、経常利益は19億5,300万円(同7.7%減)、当期純利益は13億4,900万円(同13.6%減)となった。商品区分別の売上高は、トイレタリー71億2,100万円(同7.5%増)、整髪料16億6,100万円(同2.3%増)、カラー剤2億5,900万円(同17.5%減)、育毛剤4億5,400万円(同24.6%減)、パーマ剤9,800万円(同10.8%減)、その他8,600万円(同10.4%減)となった(このほか、売上高控除が5億4,400万円のマイナス)。主力セグメントであるトイレタリー(顧客が自宅で使用するシャンプー、トリートメントなど)においては、同社のビジネスモデルである「店販戦略」(美容師が美容室の来店客に対してカウンセリングを行い、顧客のヘアスタイルやヘアケアについて最適な製品を提案し、美容室の店頭で対面販売するもの)の継続的な推進によって創出されたトイレタリーの底堅い需要を背景に、「コタ アイ ケア」の売上高が40億9,300万円(同9.6%増)と堅調な伸びとなったほか、23年5月に発売した新製品「コタエイジ

「コタ アイ ケア」の売上高 3 億 4,500 万円が上乘せとなったことなどにより、トイレットリーの売上構成比率は 73.5%（23 年 3 月期は 70.7%）に上昇した。

一方、利益面では、原材料費の上昇などにより、売上原価は 23 年 3 月期比 9.4% 増となり、売上原価率も 30.2%（23 年 3 月期は 28.7%）に上昇。売上総利益の伸びは同 1.5% 増にとどまった。また、販売費及び一般管理費が人件費などの増加によって 4.6% 増となり、売上高販管費比率も 48.7%（同 48.4%）に上昇。営業利益は減益となり、売上高営業利益率も 21.0%（同 22.9%）に低下した。

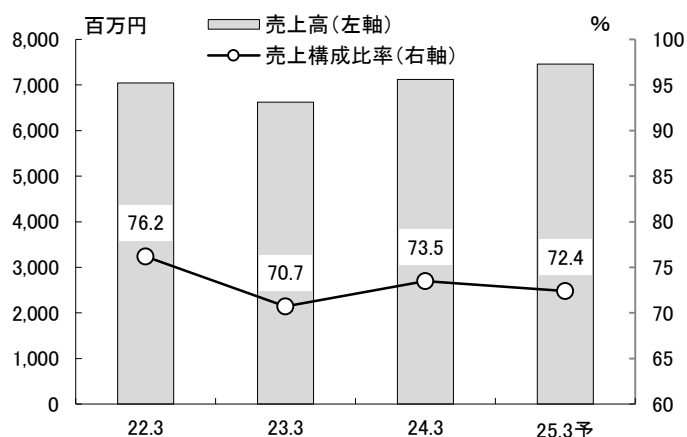
キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末における現金及び現金同等物の残高は 36 億 9,400 万円（23 年 3 月期末比 14.6% 増）となった。営業活動による CF は、税引前当期純利益 19 億 5,300 万円（23 年 3 月期比 9.1% 減）、減価償却費 3 億 4,400 万円（同 22.4% 増）、棚卸資産の増加額 1 億 800 万円（同 71.1% 減）、法人税等の支払額 5 億 7,600 万円（同 22.3% 増）などにより、21 億 6,800 万円の収入（同 66.8% 増）となった。投資活動による CF は、定期預金の預入による支出 20 億円（同横ばい）、定期預金の払戻による収入 20 億円（同 20.0% 減）、有形固定資産の取得による支出（将来の事業規模拡大に備えて約 800 坪の本社隣接地を取得、など）12 億 5,300 万円（同 38.0% 増）などにより、12 億 1,200 万円の支出（同 156.2% 増）となった。財務活動による CF は、自己株式の取得による支出 1,900 万円（同 96.1% 減）、配当金の支払額 4 億 6,600 万円（同 8.6% 増）などにより、4 億 8,500 万円の支出（同 47.4% 減）となった。

25 年 3 月期の業績見通し…25 年 3 月期の業績は、売上高 96 億 6,000 万円（前期比 5.7% 増）、営業利益 19 億 7,200 万円（同 2.6% 増）、経常利益 19 億 8,500 万円（同 1.6% 増）、当期純利益 13 億 8,000 万円（同 2.3% 増）の見通しで、22 年 3 月期以来、3 期ぶりの増収増益を目指す。

商品区分別の売上高予想は、トイレットリー 74 億 5,500 万円（同 4.6% 増）、整髪料 18 億 1,000 万円（同 8.9% 増）、カラー剤 3 億 8,000 万円（同 46.7% 増）、育毛剤 4 億 8,500 万円（同 6.8% 増）、パーマ剤 9,500 万円（同 3.2% 減）など。トイレットリーは「コタ アイ ケア」を中心に堅調な伸びが見込まれるほか、美容室で施術するグレイカラー剤（白髪染め）の新製品「コタカラーニュートグレイ」（24 年 5 月発売）の寄与により、カラー剤が大きく伸長する見通し。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。

トイレットリーの売上高及び売上構成比率の推移



トイレットリーの主カブランドの売上高推移

